

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 大牟田市立大正小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒836-0047
大牟田市大正町5丁目5番地9

E-mail taisyou-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website _____

児童生徒数 男子 166名 女子 165名 合計 331名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

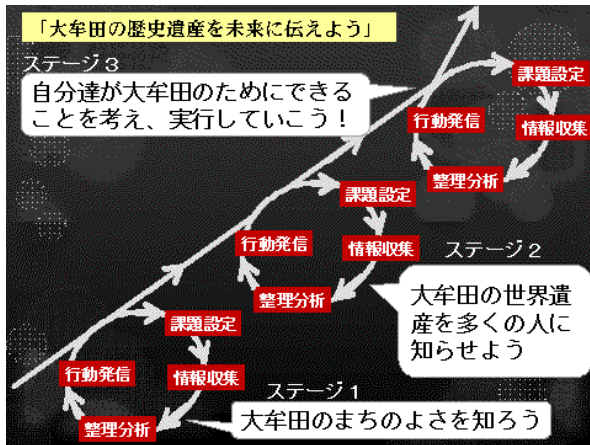
2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

第6学年 「大牟田の歴史遺産を未来に伝えよう」

- (1) 学習のねらい
 - ① 「世界遺産そのものへの誇り」
 - ② 「それらの世界遺産を築いてきた先人の思いに対する誇り」
 - ③ 「それらの世界遺産を後世へと引き継いでいこうという誇り」
- (2) 単元構成



単元構成では、3つのステージを構成した。ステージごとに、【課題設定】【情報収集】【整理分析】【行動発信】活動を設定し、スパイラル方式で取り組んでいった。

(3) 活動の実際

<ステージ1> 「大牟田のまちのよさを知ろう」では、世界遺産登録前に市長の「出前講座」や子ども自身による情報収集を行い、整理分析を行っていった。行動発信では、大牟田の窓口である大牟田駅の清掃活動を行った。

<ステージ2> 「世界遺産を多くの人に知らせよう」では、もっと詳しく知りたいという思いから世界遺産文化財推進課の方に来ていただき、質問をしながら情報収集を行った。整理分析では、世界遺産登録が決まったらどんなことができるか話し合い、登録の喜びを駅前チラシ配布など多くの人に知ってもらおうと計画し、号外新聞として内容ごとの作成を行った。行動発信では、世界遺産登録発表後、作成した号外新聞を大牟田駅で配布し登録の喜びを分かち合った。10月には、修学旅行先の長崎の大浦小学校と交流会を行い、互いの世界遺産を紹介しつながりをもつ交流ができた。

これらの発信の活動では、新聞や放送局にも放映され、子供たちは勿論、保護者や、地域の方の喜びとなり大牟田の誇りを感じられた活動であった。

<ステージ3> 「自分達が大牟田のためにできることを考え、実行していこう！」では、大牟田の窓口である大牟田駅に清掃活動と共に、美しい花で大牟田来られた方を迎えよう話し合い、花植活動を行った。この花は、

ACCU (アジア文化センター) からの寄贈で、プランターや花壇に植え付けを行った。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・ 単元構成を工夫し、子供たち自身が世界遺産登録の喜びを発信したり、大浦小学校と交流したりして喜びを持ちながら活動し、郷土の誇りを持たせることができた。

○課題

- ・ 子供たちの探究的な活動を継続的に進めていくために、単元構成の工夫や内容の見直しが必要である。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）